

ひょうご

子ども未来通信 4 月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_000000008.html



子育て応援元気アップ賞 16 団体 2 企業を表彰

先進的な少子対策・子育て支援に取り組む団体・企業などを表彰する「子育て応援元気アップ賞」に、県内 16 団体・2 企業を表彰しました。井戸知事は「これからも兵庫の子どもたちのため、県民総ぐるみで色々な活動を展開していきましょう」と今後の活動の更なる展開に期待を込めました。

その後行われた記念講演では、中村肇 阪神北広域救急医療財団理事長・県立こども病院名誉院長が、災害を体験した子どものこころのケアなどについて講演しました。



受賞団体・企業

団体・企業名
兵庫県いずみ会
神戸市垂水区主任児童委員連絡会
芦屋市子育て応援団
三木市女性団体連絡協議会
宇仁郷まちづくり協議会宇仁校区子育て支援センター
姫路市社会福祉協議会網干支部
篠山市老人クラブ連合会西紀支部本郷老人クラブ
丹波市久下愛育班
NPO 法人ウィズネイチャー
ゆうきっこクラブ
NPO 法人長尾すぎの子クラブ
にこにこファミリー運動会実行委員会
高砂子育て生活応援ネットワーク タント
おもちゃライブラリー「くれよんの会」
森のようちえん にじの子
ピグレット
株式会社アッシュ・シー・クリアシオン
パナソニック電工施設照明株式会社

(問) 県少子対策課 078-362-4232

被災者と被災地への支援を ～東北地方太平洋沖地震～

3 月 11 日の東北地方太平洋沖地震の被災者と被災地に対し、兵庫県は、12 日 10 時に井戸知事を本部長とする同地震兵庫県災害対策支援本部を立ち上げ、阪神・淡路大震災の被災地として、関西広域連合（連合長：井戸兵庫県知事）とともに、全力で支援に取り組んでいます。

阪神・淡路大震災で粉ミルクは届いたけれど哺乳びんがなくて困った等の経験から、哺乳びん（消毒剤・消毒ケース含む）、離乳食、紙おむつ、おしりナップ、ベビーバスなどの赤ちゃん用品を、毛布や食料などの救援物資とともに、いち早く送りました。

3 月 19 日には、兵庫県ボランティア先遣隊 80 名のバスに同乗して井戸知事が宮城県を訪問。避難所では、県立こどもの館の職員が子どもたちとお手玉、折り紙、コマまわしなどで遊びました。被災者の兵庫県への受け入れとともに、気仙沼市、石巻市、南三陸町、宮城県庁に兵庫県現地支援本部を立ち上げ、継続した支援に取り組んでいます。

(問) 県少子対策課 078-362-4183



～兵庫県では義援金を募集しています～

郵便振替口座 00910-3-322340

口座名義 東日本大震災兵庫県募集委員会

この口座は、所得税寄付金控除、法人税損金算入の対象になります。

(問) 兵庫県防災企画課 078-326-9898、9870

「さわやかトーク」

神戸知事 子育て支援活動団体と意見交換

知事が、地域の実践活動グループを訪問して、現地で自由に意見交換を行う「さわやかトーク」が3月6日開催され、神戸を中心に、親子向けの様々な自然体験活動などに取り組んでいる「NPO法人ウィズネイチャー」や長田区の六間道商店街の皆さんと意見交換を行いました。

知事は「商店街の空き店舗を活用した『子育てほっとステーション』を開設し、そこを拠点に活動いただいている点がうれしい。この取組が他の成功事例になってほしい」と、今後の取組に期待を寄せました。



(問) 神戸県民局 078-382-8249

はばタンの環境学習(2/25)

園児たちがはばタンとお約束

幼児期における環境学習への取り組みとして、2月25日に川西市立加茂幼稚園で「はばタンの環境学習」が実施され、約80名の園児が参加しました。

大型の紙芝居を使って水や電気等の大切さを知ってもらい、環境にやさしい生活を呼びかけました。また、環境を大切にすることをはばタンと約束することで、園児たちの環境への意識が高まりました。



(問) 県環境政策課 078-362-9895

県内の認定こども園 60園に(全国第2位)

4月1日付けで、新たに認定こども園となる施設の認証式が、3月29日、兵庫県庁で行われました。今回29施設が認定を受け、県内の認定こども園は60施設となりました。東京都に次いで、全国第2位の数です。

認証式で、清原理事兼少子対策本部事務局長は、「国の幼保一体化の議論の行方は不透明であるものの、その先駆けである認定こども園は有意義な制度。県内の子どもの健やかな育成環境づくりにご協力を」と呼びかけました。



県内の認定こども園 (幼:幼稚園 保:保育園)

市町	園名
神戸市	五葉幼、近田幼、名倉幼、いぶき幼、兵庫大学附属須磨幼
尼崎市	杭瀬幼、しもさかベ幼、めぐみ幼、立花愛の園幼、武庫愛の園幼、武庫からたち幼
西宮市	段上認定こども園
伊丹市	西伊丹幼、白ゆり幼
宝塚市	自然幼、市立西谷幼
川西市	清和台めぐみ幼、エンゼルキッズ清和台
三田市	やよい幼、三田つつじが丘幼、三田けやき幼、湊川短期大学附属北摂第一幼
猪名川町	YMCA 松尾台こども園
加古川市	兵庫大学附属加古川幼、せきれい保
高砂市	正蓮寺保・幼
三木市	緑が丘幼
加西市	白竜こども園、愛の光幼
姫路市	はぎ保、姫路ひまわり保、みどり保、エンゼル学園幼、つだの森ほうこくこども園、瑠璃保、チコハウス山びこ保、みねあい保、まるやま保、津田このみ保、しげる幼、ミカエルこども園
たつの市	まあや学園
豊岡市	合橋幼・保、高橋幼・保、資母幼・保、城崎こども園
朝来市	市立系井こども園、市立生野こども園、照福こども園、市立大蔵こども園
香美町	町立小代認定こども園
新温泉町	浜坂認定こども園、大庭認定こども園、明星認定こども園
篠山市	市立味間認定こども園
丹波市	認定こども園みつみ、吉見こども園、認定こども園さちよ、三尾の森おおじ、認定こども園あおがき

(問) 県児童課 078-362-3215

ひょうご出会いサポートセンター「ひょうご縁結びプロジェクト」

はばタン会員が早くも1500人を突破！

独身男女の出会い・結婚を支援するひょうご縁結びプロジェクトで、昨年12月より募集を開始したお見合い紹介をする「はばタン会員」の登録者数が早くも1500人を突破しました。

会員になると、相手のプロフィールの閲覧ができ、こうのとりの出会いサポーターの仲介により、お互いが気に入れば、個別のお見合いをセッティングします。ぜひお申込ください。

はばタン会員大募集！

個別のお見合い紹介の機会を提供する「はばタン会員」（年度登録料3,000円）を募集しています。詳しくはお近くの地域出会いサポートセンターまで

神戸出会いサポートCの開館時間を平日19時まで延長

また、神戸出会いサポートセンターでは、4月1日から平日の開館時間を延長します。ぜひご利用ください。

火～金 9:00～19:00

（土はこれまでどおり 9:00～17:15 です）

（問）（公財）兵庫県青少年本部

ひょうご出会いサポートセンター078-891-7415

子育て応援協定

安心して子どもを生み育てられる環境の整備や、地域における様々な子育て支援を行う企業・事業所、地域団体、職域団体等と県が協定を締結し、社会全体での子育て支援を推進します。

協定を締結すると・・・

- ・公共事業入札参加資格技術・社会貢献評価点数加算(8点/382点満点)
- ・商工中金ローンの貸出金利0.3%優遇
- ・県HPで企業等の取組を紹介などの支援が受けられます。

県歯科医師会、県内85社とそれぞれ協定を締結 計832社28団体に

社団法人兵庫県歯科医師会（橋本猛伸会長）と3月22日に協定を締結しました。橋本会長は、「本会の専門性を活かした乳幼児からの歯の健康づくりを通して子育て支援に全面的に協力していきたい」と県との協働による事業実施に向けて決意表明されました。

また、県内企業との協定締結式を3月8日、県公館で開催し、今回の締結で延べ832社となりました。続く各社の今後の取り組み宣言では、「相談や休暇が取りやすい職場環境づくりや、建設業の未来につながるインターンシップの積極的な受け入れに取り組む」「独身社員の出会い・結婚を支援するため、ひょうご出会いサポートセンターを積極的に活用していきたい」といった心強い声が聞かれました。



協定書を交わす県歯科医師会橋本会長と清原理事

（問）県少子対策課 078-362-4184

参加者募集

第3期「ひょうご絵本の伝承師養成講座」受講生募集！

県では、家庭や地域で絵本の読み聞かせを一層進めるため、著名な絵本作家を講師に迎えて開催する「ひょうご絵本の伝承師養成講座」の受講生を募集します。

- ◆日 時：平成23年5月13日（金）～6月17日（金）＜全12回（6日間）＞
- ◆場 所：県立男女共同参画センター（神戸市中央区東川崎町1-1-3）
- ◆定 員：80名（応募者多数の場合は抽選）
- ◆申込方法

氏名、住所、電話番号、FAX番号、メールアドレス、年齢、性別をお書きのうえ、「私のお会った大好きな絵本」をテーマにした400字以内の作文を添えて、下記申込先まで郵送または県ホームページ（http://web.pref.hyogo.jp/hw09/hw09_000000250.html）から申込

- ◆締 切：平成23年4月22日（金）17時必着
- ◆申込先：県少子対策課 〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1
電話 078-362-4185 FAX078-362-3011



NPO・企業・大学・行政が連携した「子育て支援メッセ」を開催

NPOと行政の子育て支援会議では、社会全体で子育て支援を進めていく気運を高めるため、神戸市内で「子育て支援メッセ」を開催し、約400人を超える親子やNPO関係者等が参加しました。参加者らは、NPOや大学・企業などの出展ブースで、様々な子育て支援情報入手するとともに、子どもたちは、トランポリン体験や、風船アート、木工遊びなどを楽しみました。

また、「子育て支援NPO大懇談会」では、石岡由紀神戸親和女子大学准教授による「子育て支援の実際」と題した基調講演の後、参加者全員による情報・意見交換を行い、子育て支援のネットワークを広げました。

(問) 少子対策課 078-362-4184



子育てほっとステーション「TREEはうす」(豊岡市)

子育てほっとステーション「TREEはうす」が、JR豊岡駅前の大開通商店街に開設されました。3月20日にオープニングイベントがあり、絵本作家の永田萌さんも駆け付けて、大賑わいのスタートを切りました。

今後、親子のための楽しい体操、絵本の読み聞かせ、おやこ英会話などのイベントが予定されています。利用時間は、毎日10時～15時です。気軽にお立ち寄りください。



(問) バニラシティ 0796-24-9966

◇ 頑張る企業 ◇

社内に保育施設を設置し仕事と子育ての両立を支援 株式会社ニッシンケアサービス(神戸市)

(代表者: 近藤孝徳 事業内容: 介護事業)

同社では、社員が長く働き続けることができる職場づくりの一環として、平成23年2月に事業所内保育施設「ひまわり保育園」を開設しました。



開設直後から、職場に保育施設があることを理由に求人への応募が増えており、同社では、優秀な人材を確保する上での効果に大きな期待を寄せています。

また、商店街の中の更地であった所に新築したことから「地域の活性化にもつながる」と、商店街や住民の方からも大変喜ばれています。

※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「ひょうご子ども未来通信・配信希望」と送信ください。

兵庫県少子対策本部(健康福祉部こども局少子対策課):
shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうご子育て応援メールも好評配信中です!

子育てに役立つ身近な情報を月3~4回配信しています。
regist@magazine.hyogo-kosodate.jp(QRコードからも読取可)に空メールを送付し登録してください。



ひょうご

子ども未来通信5月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_00000008.html

平成23年度第1回 県市町懇話会

安心こども基金を活用した子育て支援推進を市町・県協働で

知事及び県内の全市町長が一堂に会し、幅広く意見交換を行う「県市町懇話会」が4月14日、県公館で開催されました。

冒頭、井戸知事は、「震災が起こり、市町の皆さんと共に支援を行っている。23年度は大変厳しい幕開けとなったが、皆で力を合わせ頑張っていきたい」とあいさつ。

あわせて県から、子どもの入院医療費助成に加えて小学4年～6年生までの通院医療費助成が今年10月から全市町で実施されることへの謝意とともに、安心こども基金を活用した一層の保育所の新設・増改築や認定こども園の整備、出会いサポートセンター「ひょうご縁結びプロジェクト」などを説明。その後、活発な議論が行われました。



(問) 県少子対策課 078-362-4183

新ひょうご子ども未来プラン推進協議会を開催

県の少子対策・子育て支援の推進母体で、関係団体代表者等が集う「新ひょうご子ども未来プラン推進協議会」(会長:森茂起教授)が3月28日県公館で開催されました。



冒頭、金澤副知事のあいさつの後、今年2月に発表した「新ひょうご子ども未来プランプログラム 2011」等について意見が交わされました。

委員からは、「出産・育児の経験を次世代に伝えることのできる仕掛けが必要」「このようなプランが、タイムリーに県民に伝わっていくシステムが必要」など活発な意見が出されました。



(問) 県少子対策課 078-362-4183

日本助産師会兵庫県支部 県公衆浴場業生活衛生同業組合 が県と子育て応援協定を締結

県と企業等が協働して子育て家庭支援に取り組む「子育て応援協定」について、日本助産師会兵庫県支部との締結式が4月15日、開催されました。同助産師会の小坂支部長は「誰もが安心して出産、子育てができるよう力を注ぎたい」と、地域に根ざした取組を進めることを表明されました。



協定書を交わす小坂支部長と清原理事

また、県公衆浴場業生活衛生同業組合との締結式が25日に開催されました。同公衆浴場業組合の月山理事長は「地域住民のコミュニケーションの場である公衆浴場の特性を活かしたい」と



協定書を交わす月山理事長と久保部長

して「子ども“浴育”事業」など団体を挙げて支援に取り組むことを表明されました。

今回の協定締結により締結企業・団体は884社31団体となりました。

(問) 県少子対策課 078-362-4184

県と市町が協働して少子対策・子育て支援を推進していくことを目的とした会議が4月20日神戸市内で開催され、県、市町の関係者ら約120名が参加しました。

市町の事例発表等に続き行われたグループ発表では、安心こども基金について「単年度実施という制約があるが、非常にありがたい事業であり、積極的に活用したい」といった声や、「ファミリーサポートセンターの病児・病後児預かりは利用者の立場からは大変有効な取組」といった意見が出されました。



【市町の取組事例】

＜姫路市＞

市役所庁舎内での乳幼児の一時預かりを実施。乳幼児連れの来庁者が安心して手続きや相談などが行えるようになった。



＜西宮市＞

ファミリーサポートセンターでの病児預かりを23年4月から開始。予想以上の反響で、病児を預かることのできる会員の確保に向けた取組を進める。



また安心こども基金を活用し、父親の妊婦・沐浴体験を実施。妊婦への理解を深めてもらっている。



＜明石市＞

児童委員、主任児童委員が生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問。児童委員等が訪問することで、家庭からは地域とつながりができたとの感想も。



＜太子町＞

妊婦と先輩ママ・赤ちゃんとの交流会や沐浴指導、父親への妊婦体験等の両親教室を開催。新米パパママが自信を持って子育てできるよう支援。



＜篠山市＞

出会い支援事業として、結婚相談室「輪～りんぐ～」を21年度から実施。交流会、パーティ、集団お見合いなどを開催。22年度5組が成婚。23年度もすでに1組成婚の見込み。



(問) 県少子対策課 078-362-4183

在宅重症心身障害児のショートステイを介護老人保健施設で始めます

在宅で生活されている重症心身障害児の方が、家族の病気や冠婚葬祭など必要な時に、施設に短期間入所するショートステイサービスを一部の介護老人保健施設で利用できるようになりました。

利用を希望される方は、次の施設にご相談のうえ、お住まいの市町の障害福祉担当課にお問い合わせください。

今後も、身近なところで利用できるよう、引き続きショートステイサービスを充実していきます。



利用可能な介護老人保健施設

名 称	所 在 地	連 絡 先
介護老人保健施設しおさきヴィラ	姫路市大塩町汐咲1-25	079-254-5767
老人保健施設ハイマート	相生市若狭野町若狭野235-24	0791-28-1735
公立八鹿病院老人保健施設	養父市八鹿町下網場413	079-662-2355
老人保健施設咲楽荘	篠山市東吹967-1	079-590-2121
介護老人保健施設サンライズ (23.7.1以降利用可)	加古郡稲美町国安1237	079-496-5211

(問) 県障害福祉課 078-362-9497

助成金のご案内 ～ぜひご利用ください～

子育て元気アップ活動助成金

地域団体やNPOなどが地域の实情にあわせて取り組む子育て支援事業に対して、経費の一部を助成します。募集は5月20日（金）まで。

- 助成団体数：50団体程度
- 助成金額：1団体あたり20万円限度
- 助成対象事業：親学習などの子育て支援講座の開催、児童虐待防止等のセーフティネットに関する事業、子育て相談事業、子育て支援イベントの開催等

(問)県少子対策課 078-362-4185

子育てほっとステーション設置助成金

商店街の空き店舗等を活用し、親子がくつろげるたまり場として「子育てほっとステーション」を設置しようとする団体に対し、その整備費・運営費を助成します。募集は6月15日（水）まで。

- 対象：県内の商店街・小売市場団体、NPO法人等
- 設置場所：商店街・小売市場の空き店舗、ショッピングセンターの空きスペース
- 助成金額：1団体あたり150万円を限度

(問)県少子対策課 078-362-4185

参加者募集

「まちの寺子屋師範塾」の受講生を募集します！

県内各地で子育て支援を行うボランティアの裾野を広げるため、大学でさまざまな子育て支援について学ぶ「まちの寺子屋師範塾」。

5月下旬から12月中旬にかけて、県内大学・短期大学で多様なテーマの講座を開催します。講座修了者には、知事名による「まちの寺子屋師範塾修了証」をお渡しします。ぜひご参加ください。

(問) 県少子対策課
078-362-4185



5月に申し込み可能な講座

● 園田学園女子大学 そのだ流子育て講座

講師 河合利光 教授
「世界の子育て・日本の子育て」
など 全5回

- ◆開催日：5/30(月)、6/6(月)、6/13(月)、6/20(月)、6/27(月)
- ◆募集期間：～5/23(月)
- ◆問合せ・申込：06-6429-9908
- ◆募集人員：40名(先着順)

● 神戸松蔭女子学院大学 子育て・子育て支援学講座

講師 寺見陽子 教授
「子育て・子育ての今日的課題と支援の展開」
など 全6回

- ◆開催日：6/4(土)、6/18(土)、7/2(土)
- ◆募集期間：5/9(月)～5/27(金)
- ◆問合せ・申込：078-882-6159
- ◆募集人員：30名(先着順)

● 兵庫県立大学(地域ケア開発研究所) 子育てのあれこれ

講師 山本あい子 所長
「私の子育て自慢」
(参加者による子育て成功例)
など 全3回

- ◆開催日：6/18(土)、7/9(土)、7/30(土)
- ◆募集期間：5/10(月)～
- ◆問合せ・申込：078-925-9607
- ◆募集人員：30名(先着順)

多世代で体験 ～あそぶ・つくる・かんじる～

5/5(祝)こどもフェスティバルを開催します！

県立こどもの館では「こどもの日」に、積み木やこいのぼり・かぶと工作など家族で参加できる行事を実施します。(参加無料)

◇日時：平成23年5月5日(木・祝) 10:00～16:30
◇場所：県立こどもの館 全館
(姫路市太市中915-49)

◇内容：5000個の積み木であそぼう、わくわく劇あそび、こいのぼりやかぶとなどの工作など

◇問合せ：県立こどもの館
079-267-1153



「地域子育て支援にかかわる大学間連絡協議会」 6/11(土)設立シンポジウムを開催します

県内の大学が連携して地域の子育て支援に貢献するための協議会の設立に伴い、その記念シンポジウムが開催されます。(参加無料)

◇日時：平成23年6月11日(土) 13:30～
◇場所：ラッセホール ローズサルーン
(神戸市中央区中山手通4-10-8)

◇内容：基調講演(神戸大学・伊藤篤氏)
「大学との協働による子育ての推進(仮題)」
各大学によるパネルディスカッション等

◇申込：大学間連絡協議会事務局(FAX 078-803-7971)
(申込時に、お名前・ご所属・ご連絡先を記載ください)
E-mail: yukano-teramura@stu.kobe-u.ac.jp

ご存じですか？ マザーズハローワーク三宮



JR 三ノ宮駅前のビルの1階にある「マザーズハローワーク三宮」では、就職を希望する女性や子育て中の方に個々の希望やニーズに応じたきめ細やかな相談を行っています。

ベビーカーを押したまま入れる、ゆったりとしたスペースには、キッズルームや授乳室が備えられており、子ども連れでも求人検索や職業相談を気軽に行うことができます。

キャリアカウンセリングは予約・担当者制で、じっくりとアドバイスが受けられる他、パソコン講習会や就職活動に役立つ各種セミナーも開催しています。

また、尼崎、西宮、加古川、姫路、豊岡の各ハローワークでも、キッズルームを備えたマザーズコーナーが開設されていますので、ぜひご利用ください。

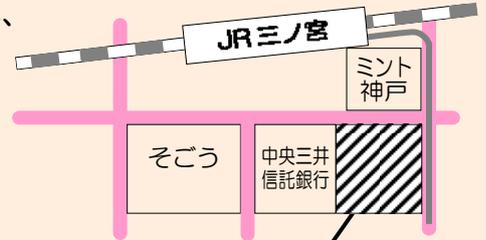


<マザーズハローワーク三宮>
平日：10:00～19:00
第2・4土曜：10:00～17:00

(問) マザーズハローワーク三宮 078-231-8603



授乳室



マザーズハローワーク三宮
(日本生命三宮駅前ビル1F)

地域団体・NPO・企業等の活動紹介

子育てほっとステーション「ひまわり」(明石市)

JR 西明石駅前の西明石南商店街にある子育てほっとステーション「ひまわり」は、地域の子育て支援者が連携して運営しており、おしゃべりしたり、遊んだりして、ママたちがくつろげるスペースを提供しています。

施設には授乳室や給湯設備が整備されているほか、定期的に、ふれあい遊び、育児相談、美容・健康相談、親子サークルなどの各種子育て支援事業が行われています。

開設日時は月曜日から金曜日(祝祭日、振替休日除く)の10時～11時30分です。

ぜひご利用ください。



(問) 花園ファミリーサポートクラブ 078-923-3572

◇ 頑張る企業 ◇

社内に保育施設を設置し仕事と子育ての両立を支援

株式会社リー (西宮市)

(代表者: 眞城照史 事業内容: 美容業)

同社では、多くの美容師が出産・育児を理由に退職するという実情と、職場にも保育施設があればというスタッフの声にこたえるため、平成23年2月に事業所内保育施設「フェアリー保育所」を開設しました。

働きながらの子育てには、職場をはじめ周囲の人の理解と協力が不可欠です。同社では、子育て中のスタッフを職場全体で応援しています。JR西宮駅前の新店舗に併設された保育所では、アットホームな雰囲気の中で保育が行われており、施設を利用するスタッフから大変好評を得ています。



※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「ひょうご子ども未来通信・配信希望」と送信ください。

兵庫県少子対策本部(健康福祉部こども局少子対策課)：
shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうご子育て応援メールも好評配信中です!

子育てに役立つ身近な情報を月3~4回配信しています。

regist@magazine.hyogo-kosodate.jp(QRコードからも読取可)に空メールを送付し登録してください。



ひょうご

子ども未来通信 6月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_000000008.html



県児童虐待相談が昨年度過去最多の2,298件に

近隣・知人からの通報・相談が2.4倍に増加

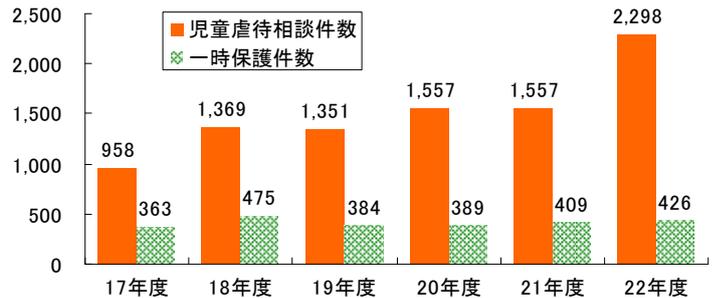
県内こども家庭センター(県5、神戸市1)への児童虐待相談件数は、平成22年度2,298件(前年度比47.6%増)と過去最多となりました。一時保護件数は微増となっています。

県所管分の内訳をみると、近隣・知人からの相談が、昨年度の2.4倍となっており、早い段階での近隣等からの通報・相談が増加しています。

県では、こども家庭センターの環境整備・体制強化や、児童養護施設に付設した児童家庭支援センターの増設など児童虐待防止対策の強化に取り組んでいます。児童虐待の連絡や相談は、24時間電話で受け付けています。(右記)

(問) 県児童課 078-362-3182

児童虐待相談・一時保護件数の推移



<児童虐待防止24時間ホットライン>

中央こども家庭センター	078-921-9119
西宮こども家庭センター	0798-74-9119
川西こども家庭センター	072-759-7799
姫路こども家庭センター	079-294-9119
豊岡こども家庭センター	0796-22-9119
神戸市こども家庭センター (夜間休日相談)	078-382-2525 078-382-1900

阪神北地域に児童家庭支援センターを新設



県は、見守りが必要な親子の相談等に24時間体制で対応する児童家庭支援センターを宝塚市内に新たに設置し、その開所式が5月27

日に行われました。

児童家庭支援センターは、児童養護施設に付設され、相談員や心理療法を担当する職員が子育ての相談を受けるほか、家庭や地域とこども家庭センターをつなぐ役割を果たします。

センターの新設により、県内の児童家庭支援センターは8ヶ所となりました。

子どもや子育て家庭の問題についてお悩みの方は、ぜひ最寄りの右記センターまで。



県内にある児童家庭支援センター

地域	施設名	附置施設	電話番号
阪神北	子そだて林 -トひかり	御殿山	(079)
		ひかりの家	81-2775
阪神南	キャンディ	子供の家	(06) 6491-1811
東播磨	虹の丘	立正学園	(079) 438-2725
中播磨	すみれ	アミニホーム 広畑学園	(079) 238-3553
西播磨	すずらん	アミニホーム 光都学園	(0791) 58-1144
但馬	リボン	若草寮	(079) 676-5035
神戸 (所管 は神戸 市)	少年の町 子ども家庭支 援センター	神戸少年の 町	(078) 751-0123
		神戸真生塾 子ども家庭 支援センター	(078) 341-6493

(問) 県児童課 078-362-3198

県婦人手工芸協会、ニュー・オペラシアター神戸と県が子育て応援協定を締結 協定締結団体は896社33団体に

県と協働して、仕事と子育ての両立支援や子育て家庭への支援を進める「子育て応援協定」を結ぶ団体が増えています。

5/24には、県婦人手工芸協会と県の協定締結式が開催され、正井公子会長と金澤副知事が協定書を交換しました。

正井会長は「子どもたちに手づくり工芸の素晴らしさ、楽しさを伝える体験講座を積極的に開催していきたい」と、子育て支援の一層の充実を表明されました。

金澤副知事からは「伝統に培われた手工芸技術の伝承を通じ、子どもたちの豊かな心を育む、地域に根ざした新たな活動の展開に期待している」とエールが送られました。



また5/13には、ニュー・オペラシアター神戸と県の協定締結式が行われ、萩原良子理事長と清原県理事兼少子対策本部事務局長が協定書を交換しました。

萩原理事長からは、「これまで以上に、子どもたちの豊かな心を育む活動に力を注ぎたい」と芸術分野からの支援に一層取り組むことを表明されました。

(問) 県少子対策課 078-362-4184



県立こどもの館で こどもフェスティバルを開催

こどもの日の5月5日、県立こどもの館で、「多世代で体験活動～あそぶ・つくる・感じる～」をテーマに「こどもフェスティバル」が開催され、約6千人の親子連れで賑わいました。

当日は、清原理事からの挨拶や小学生による吹奏楽演奏、こどもミュージカル、和太鼓演奏の後、地域団体、ボランティア等が工夫をこらした様々な工作ブースや、5,000個の積み木遊びなど多彩な催しが行われ、家族みんなで楽しい初夏の一日を過ごしました。



「伝承あそびのひろば」も盛況！

また、こどもの館に常設の『伝承あそびのひろば』にもたくさんの家族連れが訪れ、昔遊びを楽しみました。

畳が敷かれた居心地のよい空間では、すごろくやカルタ、将棋などを楽しむ明るい親子の笑顔がいつもあふれています。

他にも、ままごとセットや紙の着せ替え人形、木や竹の玩具等があり、どれでも自由に遊ぶことができます。

みなさんも、ぜひ遊びに来てください。



(問) 県立こどもの館 079-267-1153

「おい集まれ こいのぼりの集い」開催

5月14日、県内の児童養護施設や乳児院の子どもたち1,200人が県立明石公園に集う同行事が開催されました。

清原理事からのあいさつの後、子どもたちによるダンスや各施設対抗の大縄跳び競争などの催しや、施設職員による牛乳パックを使ったモニュメントの発表などが行われ、子どもたちは五月晴れの一日を思い思いに楽しみました。



(問) 県児童課 078-362-3198

第3期 絵本の伝承師養成講座がスタート

家庭や地域等での絵本の読み聞かせを一層進めるための養成講座が今年度も開講しました。

第1回目となる5月13日には、絵本作家の永田萌先生から絵本の基本的知識や歴史について講義があり、会場では、興味深くなすいたり、積極的に発言する受講生の姿が見られました。



当講座を修了された方には、「ひょうご絵本の伝承師」として、地域での絵本の読み聞かせ活動の推進等でご活躍いただきます。

姫路市の県立こどもの館で開催される第4期講座(8/26～)は、近々募集予定です。

(問) 県少子対策課 078-362-4185

親子で県立美術館に遊びに行きませんか!

子育て中の皆さん、一時保育サービスを利用して、ゆっくり美術鑑賞しませんか?

県立美術館では、保育スペースを用意し、子育て支援団体による一時保育サービスを始めました。お子さんには、アートな絵本もご用意しています。



【次回の預かり実施日】

6月7日(火)

15日(水)

(問) Heart Mam(ハートママ)
090-3948-3719

また、小・中学生に美術と美術館に親んでもらう「こどもプログラム」も開催します。

お問合せ・お申込は下記まで。

日時	テーマ	対象	内容	申込
6/11 (土) 13:30 ~ 14:00	<おやこ 解説会> かたていすき と青騎士 展関連	小学生以下 +保護者 (100名)	展覧会の見 所を学芸員 がわかりや すく紹介	申込 不要
6/18 (土) 13:30 ~ 15:30	<こども のイベント(鑑賞)> コレクション展、美 術館探検 ツアー	小中学生 +保護者 (30名)	美術館の作 品をスタッ フと一緒に 見たり、日 頃入れない 美術館の舞 台裏を探検	6/4 (土) 10:00 ~ 電話 受付 (先着 順)

(問) 県立美術館 078-262-0908

「まちかど子育て相談員」の養成委託団体を募集します

県では、身近なところで子育て家庭をきめ細かくサポートするため、子育て家庭からの相談にのり、子育て支援サービスの情報を提供する子育て版ケアマネージャー「まちかど子育て相談員」を新たに県内各地で養成します。

同事業は、NPO等に委託して実施します。委託団体を募集中です。

- ◆事業内容：まちかど子育て相談員養成講座の企画・実施
- ◆募集团体数：3団体(①神戸、②阪神、③姫路の各地域1団体)
- ◆応募期間：平成23年6月13日(月)まで(資料提出は持参に限る。郵送不可)
- ◆応募資格：県内に主たる事務所を有し活動しているNPO団体等
- ◆委託料：上限80万円

(問) 県少子対策課 078-362-4185

「子育て情報楽座」の委託団体を募集します

県では、地域全体での子育て支援を活性化するため、地域の身近な場所を活用して、子育て支援情報の収集・発信、交流・ネットワークの拠点となる「子育て情報楽座」を新たに県内各地で開設します。

同事業は、NPO等に委託して実施します。委託団体を募集します。

- ◆募集团体数：6団体(①神戸・淡路、②阪神南、③阪神北、④東播磨、⑤北播磨・但馬・丹波、⑥中・西播磨の各地域1団体)
- ◆応募期間：平成23年6月13日(月)まで(資料は持参に限る。郵送不可)
- ◆応募資格：県内に主たる事務所を有し活動しているNPO団体等で、事業委託後に「子育て情報楽座」を開設すること。
- ◆委託料：上限50万円

(問) 県少子対策課 078-362-4185

仕事子育ても充実させたママたちを応援します！

親子でゆっくり絵本を楽しめる「ひょうご未来文庫」開設

「ひょうご女性チャレンジひろば」に

6月1日から女性就業支援員を配置し、求人情報を検索できる専用パソコンを設置します

県立男女共同参画センターでは、働いているママやこれから働きたいママを応援するため、女性のための就業支援がスタートしました。新たに女性就業支援員が就職情報の提供や、きめ細かなアドバイスなど、お一人おひとりにあったサポートを行います。また、2台の専用パソコンから求人情報を検索・閲覧できるほか、次のサポートが受けられます。

- 1 キャリアコンサルタントによる個別相談
- 2 再就職セミナーやパソコン講座
- 3 保育付きライブラリーの利用
- 4 男女共同参画に関する情報提供
- 5 就職後のフォローやステップアップ相談
- 6 なやみの相談など各種女性相談
- 7 コミュニティサイトによる同じ思いの仲間づくり

県立男女共同参画センターでは、絵本作家の永田萌さんのセレクトを中心に、様々なジャンルの絵本をそろえた「ひょうご未来文庫」を開設しました。マットの上で子どもと一緒に絵本を広げながら、ほのぼのとしたひと時を過ごしてみませんか。

「保育付きライブラリー」や「紙芝居・絵本の読み聞かせひろば」も毎月開催していますので、お気軽にご利用ください。

利用時間：月～金曜9時～19時
土曜9時～17時

(祝日、年末年始除く)
貸出可能冊数
：ひとり3冊、
2週間まで可



(問) 県立男女共同参画センター 078-360-8550

ママハタ・コミュニティのサイトがオープンしました！

再就職を目指す子育て中のママやプレママなどを対象としたソーシャル・ネットワーキング・サービス、「ママハタ・コミュニティ」では、就職支援に関する講座やイベント、仕事に関する情報発信をはじめ、掲示板を通してリアルタイムな情報を共有したり、友だちや仲間づくりもできます。

子育てに関する悩みや質問など先輩ママや後輩ママと情報交換してみませんか。

<http://mamahata.net/community> (管理運営：NPO 法人ママの働き方応援隊)

参加者募集

「まちの寺子屋師範塾」の受講生を募集します！

県内各地で子育て支援を行うボランティアの裾野を広げるため、大学でさまざまな子育て支援について学ぶ「まちの寺子屋師範塾」。

5月下旬から12月中旬にかけて、県内大学・短期大学で多様なテーマの講座を開催します。講座修了者には、知事名による「まちの寺子屋師範塾修了証」をお渡しします。ぜひご参加ください。

6月に申し込み可能な講座

兵庫県立大学(地域ケア開発研究所)

子育てのあれこれ

講師 山本あい子 所長
「私の子育て自慢」
(参加者による子育て成功例)

など 全3回

◆開催日：6/18(土) 7/9(土)
7/30(土)

◆募集期間：5/10(月)～

◆問合せ・申込：078-925-9607

◆募集人員：30名(先着順)

関西福祉大学

子育て環境を考える
-子どもが健やかに育つ「場」とは-

講師 岩本真佐子 教授
「里親支援の展開～
子どもの健全育成を願って～」

など 全4回

◆開催日：7/16(土) 8/19(金)
9/23(金) 10/29(土)

◆募集期間：6/1(水)～7/11(月)

◆問合せ・申込：0791-46-2735

◆募集人員：50名(先着順)

兵庫大学

みんなで行う子育て・子育て

講師 川上あずさ 准教授
「子どもの危険防止と
事故の対処方法」

など 全4回

◆開催日：9/3(土) 9/17(土)
10/1(土) 10/15(土)

◆募集期間：6/1(水)～7/30(土)

◆問合せ・申込：079-427-9551

◆募集人員：40名(先着順)

※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「ひょうご子ども未来通信・配信希望」と送信ください。

兵庫県少子対策本部(健康福祉部こども局少子対策課)：
shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうご子育て応援メールも好評配信中です！

子育てに役立つ身近な情報を月3～4回配信しています。
regist@magazine.hyogokosodate.jp(QRコードからも読取可)に空メールを送付し登録してください。



ひょうご

子ども未来通信7月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_000000008.html

独身男女の出会い・結婚支援事業で237組が成婚

ひょうご出会いサポートセンターでは、県内市町・団体等と連携し、「出会いイベント会員(こうのとりのり会員含む)」「はばタン会員(個別お見合い紹介)」を募集し、独身男女の出会い・結婚支援に取り組んでいます。企業・自治体等の団体会員は312団体、個人で登録された会員は10,596人と年々増加しており、成婚数もすでに237組にのぼっています。昨年12月からスタートした「はばタン会員(個別お見合い紹介)」も、この度、成婚第1組目が誕生しました。

内閣府の調査によると、未婚者の9割が結婚を希望しているものの、うち半数は適当な相手にめぐり合えないと回答しています。

当事業では、食事会やハイキングなど出会いのための多彩なイベントを開催しています。是非お申し込みください。



出会いイベント・ハイキング



はばタン会員同士の初ゴールイン

各種会員・団体大募集!

＜出会いイベント会員(無料)＞

協賛団体(企業)が企画・開催する出会いイベントに参加できます。

＜はばタン会員(有料:年度登録料3000円)＞

プロフィールを閲覧して、気に入った相手との個別のお見合い紹介を提供します。

☆出会いイベントを企画・開催する協賛団体(企業)も募集しています。

(問) ひょうご出会いサポートセンター078-891-7415

未婚者の9割が結婚を希望
半数は適当な相手にめぐり合えず

内閣府が行ったインターネット調査によると、未婚者9割が結婚を希望しているものの、6割は現在交際相手がおらず、また将来結婚したいと答えた男女のうち半数が「適当な相手にめぐり合わない」と回答していることが明らかになりました。

また、都道府県の66.0%、市区町村の32.5%が結婚支援事業を実施しており、現在では多くの地方自治体が出会い・結婚支援に取り組んでいることが明らかになりました。

全国私立保育園研究大会 保育士ら2400人が参加

全国の私立保育園から保育士らが集う同大会が、6月15日から3日間、神戸市内で開催され、関係者等約2,400名が参加しました。

井戸知事は、「少子化であるほど、子どもたちを遅く、元気に、健やかに育てなければならない。保育士の皆様の役割がますます重要」とあいさつ。

学識者によるシンポジウムでは、フランスやフィンランド等の保育システムと子育て事情が紹介され、「子ども中心の視点で参考にすべき点も多い」等の意見が交わされました。

16日には、21の分科会が開かれ、日頃の取組成果の発表・討議が行われました。(問) 県児童課 078-362-3199

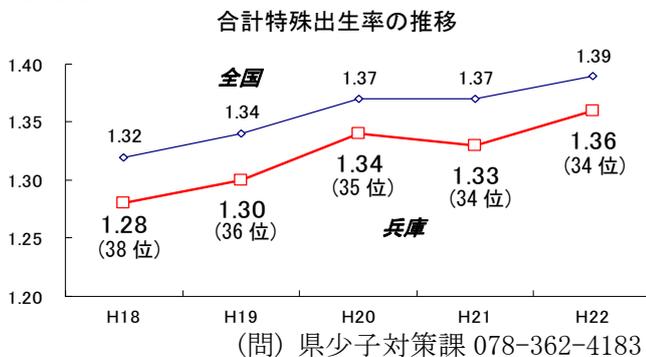


H22の県合計特殊出生率が1.36に上昇

厚生労働省が6月1日に発表した資料によると、本県の平成22年の合計特殊出生率は、1.36（前年比+0.03）と全国平均を上回って上昇したことがわかりました（全国は1.39（同+0.02）、全国順位は前年と同じ34位）。

また、平均初婚年齢は、夫30.3歳、妻28.7歳で夫・妻とも前年より0.1歳上昇しています（全国は夫30.5歳、妻28.8歳）。

出生率の上昇は主に30代の出生数増によるものですが、今後5年間で出生率の高い20代、30代の女性人口は1割以上減少することが見込まれており、子育てを喜びとして実感できる様々な取組が求められています。



地域女性団体ネットワーク会議を開催(6/14)

県連合婦人会をはじめ18団体で構成する地域女性団体ネットワーク会議が6月14日、神戸市内で開催され、県からは子どもの見守り活動等の実施状況や児童虐待防止対策などが報告されました。

また、構成団体の特徴を活かした子育て支援活動や今年度の取り組み方針などについて話し合いました。

出席者からは、「私たち祖母世代がしっかりと子育て世代を応援しなければならない」と、改めて取り組みに向けた決意が語られました。



(問) 県少子対策課 078-362-4185

ひょうご地域子育て支援大学間連絡協議会(HUG CaFE) 設立記念シンポジウムを開催

県内18大学が連携し、研究成果を地域の子育て支援に活かす同協議会の設立記念シンポジウムが6月11日に神戸市内で開催され、200名以上が参加しました。

伊藤篤会長（神戸大学教授）による基調講演、清原理事からのメッセージの後、5大学の研究者によるパネルディスカッションが行われ、「大学は、現在行われている子育て支援の評価と検証を行った上で、次の取組・実践につなげていくことが重要」など、今後のあり方等について意見が交わされました。

秋には協議会メンバーが研究成果を発表するフォーラムを開催する予定です。



参加大学 (50音順)

関西国際大学	神戸常盤大学
関西学院大学	夙川学院短期大学
近大姫路大学	頌栄短期大学
甲南大学	姫路獨協大学
甲南女子大学	姫路日ノ本短期大学
神戸大学	兵庫大学
神戸海星女子学院大学	兵庫教育大学
神戸松蔭女子学院大学	兵庫県立大学
神戸親和女子大学	武庫川女子大学

(問) 県少子対策課 078-362-4183

国際ソロプチミスト西宮と子育て応援協定締結

国際ソロプチミスト西宮と県との子育て応援協定締結式が6月20日西宮市内で開催され、埴淵みち子会長と大内こども局長が協定書を交換しました。

埴淵会長は「安心して子どもを生き育てられる社会の実現に向け、より一層、奉仕活動に励んでいきたい」と団体による子育て支援の一層の充実を表明。

大内局長からは、「心のこもった奉仕活動を通じ、これからも子どもや若者の成長を温かく見守ってほしい」とエールが送られました。



(問) 県少子対策課 078-362-4184

「ひょうご絵本の伝承師」319名に

絵本の楽しさを人々に伝える「ひょうご絵本の伝承師」第3期生の認定証授与式が、6月17日に神戸市内で行われ、79名が認定されました。これにより伝承師は第1期119名、第2期121名と合わせ、合計319名となりました。

永田萌さん、黒井健さん、大内曜子さんという3名の著名な絵本作家による6日間(12回)の講座を無事修了した受講生の方達からは、「絵本の魅力を多くの子ども達に伝えたい」など、早くも地域での読み聞かせ活動に向けた熱い想いが語られました。

また選抜チームによる迫力満点の朗読も行われ、会場中が絵本の世界に引き込まれました。



(問) 県少子対策課 078-362-4185

第4期の受講生を募集します！

県立こどもの館で8月26日からスタートする第4期の講座受講生を募集しています。絵本の読み聞かせに興味のある方は、ぜひご応募ください。

- ◆日 時：8/26、9/2、9/9、9/16、10/7、10/14
(いずれも10:10~15:00)
- ◆場 所：県立こどもの館(姫路市太市中915-49)
- ◆定 員：80名(応募者多数の場合は抽選)
- ◆申込方法：氏名、住所、電話番号、FAX番号、メールアドレス、年齢、性別を記入のうえ、「私の出会った大好きな絵本」をテーマにした400字以内の作文を添えて、下記申込先まで郵送または県立こどもの館ホームページ(<http://kodomonoyakata.jp/>)から申込
- ◆締 切：平成23年8月5日(金)17時必着
- ◆申 込 先：県立こどもの館
〒671-2233 姫路市太市中915-49
電話 079-267-1153 FAX079-266-4632



ツイッターによる子育て支援情報の提供開始!

近年、利用者が急増しているインターネット上のミニブログサービス「Twitter(ツイッター)」を活用した兵庫県少子対策本部子育て支援情報「ひょうご子育て」の提供を6月22日から開始しました。

地域の子育て相談やお役立ち情報、誰でも参加できる子育てイベントや講座の案内、新たな少子対策・子育て支援事業の紹介など、少子対策・子育て支援に関する情報を随時発信していきます。

アクセスは以下のアドレスまで。
<http://twitter.com/hyogokosodate>

画面イメージ



(問) 県少子対策課 078-362-4183

「親子農業体験教室」 泥んこにないながら田植えを体験

人と環境にやさしい「コウノトリ育む農法」によるお米づくりを体験する「親子農業体験教室」の第1回目のイベントが6月4日兵庫楽農生活センターで開催されました。

約90組の親子がインストラクター等や地元農家の指導を受けながら、田植えを楽しみました。これから4回にわたって、除草作業や田んぼの生き物調査などを行い、秋には自分達で収穫したお米で飯ごう炊さんを行います。

なお、同センターでは、そのほかにも様々な体験イベントを用意しています。



(問) 兵庫楽農生活センター078-965-2651

参加者募集

～すべての子どもが生き生きと育つ社会のために～

8/21(日) ひょうごユニバーサル子育てフォーラムを開催します

少子対策・子育て支援の方向性が国レベルで動きつつある今、その動きを踏まえ、すべての子どもが生き生きと育つことができる社会づくりを発信するフォーラムを開催します。(参加無料)

- ◇日時：平成23年8月21日(日) 13:00～15:40
- ◇場所：県公館 大会議室(兵庫県庁南)
- ◇内容：基調講演(村木厚子内閣府政策統括官)、鼎談(村木政策統括官、大平光代弁護士、竹中ナミ プロップステーション理事長)
- ◇申込：名前、住所、電話を記載の上 FAX(078-362-3011)またはE-mail shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp で申し込み(定員400名 先着順)
- ◇問合せ：県少子対策課 078-362-4186



村木厚子
内閣府政策統括官



大平光代弁護士



竹中ナミ理事長

「まちの寺子屋師範塾」の受講生を募集します！(7月に申し込み可能な講座)

県内大学でさまざまな子育て支援について学ぶ「まちの寺子屋師範塾」を開催します。(受講料：無料)

神戸親和女子大学

子育てをどう支援するか

講師 山根耕平 教授
「子どもの遊びとスポーツ」

など 全5回

◆開催日：9/3(土) 9/10(土)
9/24(土) 10/1(土)
10/8(土)

◆募集期間：7/26～8/31
◆問合せ・申込：078-591-2934
◆募集人員：30名(先着順)
(材料費、別途要)

芦屋大学

地域で支える
子ども・若者の成長

講師 三羽光彦 教授
「地域で支える子ども・若者の成長」

など 全6回

◆開催日：9/10(土) 9/17(土)
9/24(土) 10/1(土)
10/8(土) 10/15(土)

◆募集期間：7/25～9/3
◆問合せ・申込：0797-23-0662
◆募集人員：30名(先着順)

姫路獨協大学

発達障害入門
子どもの育ちを支える遊び

講師 小西紀一 教授
「自閉症の子どもは、こんなことに困っています」

など 全8回

◆開催日：10/6(木) 10/13(木)
10/20(木) 10/27(木)

◆募集期間：7/1～
◆問合せ・申込：079-223-6593
◆募集人員：20名(先着順)

神戸国際大学

子どもと学力

講師 山本克典 教授
「学歴と学力ー学歴社会を考えるー」

など 全3回

◆開催日：9/3(土) 9/10(土)
9/17(土)

◆募集期間：7/1～8/20
◆問合せ・申込：078-845-3111
◆募集人員：30名(先着順)

(問) 県少子対策課 078-362-4185

地域団体・NPO・企業等の活動紹介

日本助産師会兵庫県支部(神戸市)

同支部では、助産師の資質向上を図るとともに、地域の人々の健康な生活の実現に向け、妊産婦・子育て中の親等への電話相談や、ベビーマッサージ事業等を行っています。

東日本大震災では、宮城県の助産所から依頼のあった夜間・休日電話相談を発生2日目から引き受け、多い日には1日13件の相談に応じるなど、被災地の妊婦や子育て中の親を兵庫から支えました。

今年度は、県との子育て応援協定に基づき、これから祖父母になる世代や、乳幼児の孫がいる人達を対象にセミナーを開催します。ぜひご参加ください。

(問) 同会兵庫県支部
078-362-1188



被災地からの電話相談を引受けた助産所「ほえむ」

※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「ひょうご子ども未来通信・配信希望」と送信ください。
兵庫県少子対策本部(健康福祉部こども局少子対策課)：shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

兵庫県では今夏のピーク使用電力量15%削減をめざし9/22までサマータイムを実施中です。なお、サマータイム勤務期間中も、各種受付や相談窓口等の時間に変更はありません。

ひょうご子育て応援メールも好評配信中です！

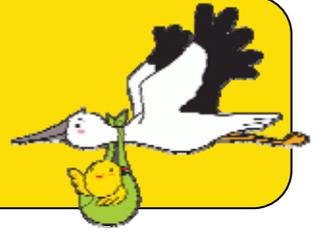
子育てに役立つ身近な情報を月3～4回配信しています。
regist@magazine.hyogo-kosodate.jp(QRコードからも読取可)に空メールを送付し登録してください。



ひょうご

子ども未来通信 8月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_00000008.html



平成23年度 県婦人大会(7月6日)

地域の子育て応援活動の要として更なる活躍を期待

県連合婦人会が、「日本の再生—安全・安心・元気な兵庫の未来を守るために、今私たちにできること」をテーマに、丹波の森公苑ホールで兵庫県婦人大会を開催し、約700人が参加しました。

県連合婦人会の北野会長は、東日本大震災の状況を踏まえ、「兵庫の復興は行政とともに県民が頑張った結果。将来の子どもや孫たちに、恥ずかしくない生き方を示したい。」と挨拶しました。

その後、井戸知事が「東日本大震災の復興支援と防災・減災への備え」と題して講演し、「婦人会は地域の元気の要であり、子育て応援ネットなどの子育て応援活動の要。地域コミュニティの担い手として一層の活動を期待したい」と呼びかけました。

(問) 県男女家庭室 078-362-3169



子ども・子育て新システム検討会議

「子ども・子育て新システム」中間とりまとめを決定

政府の「子ども・子育て新システム検討会議」は、幼保一体化を柱とする新たな子育て支援策「子ども・子育て新システム」に関する中間報告を7月27日に決定しました。

新システムでは、保護者の就労の有無にかかわらず、すべての子どもへの保育サービスと教育の提供を目標に掲げており、政府は関連法案の23年度中の国会提出と25年度からの段階的運用を目指しています。

【中間とりまとめの主なポイント】

- 学校教育・保育及び家庭における養育支援を一体的に提供する「総合施設」(仮称)を創設
- 総合施設(仮称)、幼稚園、3歳未満児対象の保育所、一定基準を満たした企業やNPO法人等が運営する保育施設を「こども園」(仮称)と位置付け
- 保育ママや小規模保育は「地域型保育給付」(仮称)の対象に
- 学校教育・保育に係る給付を一本化した「こども園給付」(仮称)を創設
- 市町村は保育需要をもとに事業計画を策定

<http://www8.cao.go.jp/shoushi/10motto/08kosodate/index.html>

子育てほっとステーション 34か所に

商店街の空き店舗等を活用し、親子がくつろげるたまり場等を設置する団体に整備費等の補助を行う「子育てほっとステーション設置事業」の今年度の助成先が決定しました。

これにより、21年度、22年度の設置か所と合わせて、全県で34か所の「子育てほっとステーション」が活動を展開します。ぜひご利用ください。



新たに設置される施設	設置場所
子育てほっとステーション「いっぴく」	神戸市北区南五葉 1-1-104 西鈴名店街内
子育てほっとステーション「キラキラ」	神戸市東灘区森南町 1-5-1 セルバ地下1階
子育てほっとステーション「ひびぼ」	西宮市戸田町 4-2 古谷ビル1階
子育てほっとステーション「パスカルさんだ」	三田市川除 677-1 パスカル三田一番館内
子育てほっとステーション「こぼこ」	加古川市加古川町篠原町 59-1
子育てほっとステーション「遊遊」	加西市北条町北条 28-1 アスティアかさい内
子育てほっとステーション「七福座絵本館」	姫路市西二階町 85 七福座
子育てほっとステーション「びあ」	たつの市新宮町井野原 481-1
子育てほっとステーション「中央」	丹波市氷上町成松 333
子育てほっとステーション「福住」	篠山市福住 320 福住まちづくり拠点「さんば家ひくち」
子育てほっとステーション「ほりばた」	洲本市本町 5-4-28

(問) 県少子対策課 078-362-4185

国際ソプロチミスト姫路と子育て応援協定締結

地域での奉仕活動等に取り組む国際ソプロチミスト姫路と県との子育て応援協定締結式が7月15日に姫路市内で行われ、延賀純子会長と金澤副知事が協定書を交換しました。

延賀会長は、「女性や子どもが安心して暮らすことのできる明るい未来を目指し、これまで以上に

地域での活動に励みたい」と支援の一層の充実を表明されました。



金澤副知事からは、「活動を通じ、多くの方が地域の子育て支援に関わってもらえるよう力を注いでいただきたい」とエールが送られました。

今回の協定締結により、締結企業・団体は907社35団体となりました。

(問) 県少子対策課 078-362-4184

県茶道協会との子育て応援協定に基づく協働事業

子ども茶道教室を開催

県茶道協会は、県との子育て応援協定に基づく協働事業として、伝統文化体験「子ども茶道教室」を神戸市内で開催し、地元の幼稚園児40人が「七夕茶席」を楽しみました。

会場では大きな笹が用意され、子ども達は持参した短冊で七夕の飾り付けを楽しんだ後、茶室で正座をして初めての茶道に挑戦。先生による丁寧な指導のもと、お茶やお菓子のいただき方を学びました。

また、ボランティアの方による七夕絵本の読み聞かせもあり、子どもたちの笑顔があふれていました。



(問) 県少子対策課 078-362-4184

ファミリーサポートセンター アドバイザー等研修会を開催(7/14)

県内ファミリーサポートセンター連絡先

市町	電話
神戸市	(078)271-5545
尼崎市	(06)6489-3067
西宮市	(0798)39-1534
芦屋市	(0797)25-0521
伊丹市	(072)772-4560
宝塚市	(0797)85-4535
川西市・猪名川町	(072)740-6800
三田市	(079)559-8996
明石市	(078)915-1277
加古川市	(079)424-9933
高砂市	(079)442-0555
稲美町	(079)492-9090
播磨町	(078)944-0717
三木市	(0794)82-2395
小野市	(0794)63-3611
加西市	(0790)42-0111
加東市	(0795)43-0444
姫路市	(079)223-5638
神河町	(0790)34-0962
相生市	(0791)23-0155
たつの市	(0791)63-5106
赤穂市	(0791)42-4011
宍粟市	(0790)72-2100
上郡町	(0791)52-1114
佐用町	(0790)82-0341
篠山市	(079)590-1388
丹波市	(0795)70-2244

ファミリーサポートセンターは、会員相互の助け合いによる子どもの一時預かりや病後児の預かり等を行っており、現在、県内28市町27センターで実施しています。(病後児預かりについては23市町で対応)

7月14日にはセンターのアドバイザー等を対象とする研修会が開催され、4月から病児・病後児預かりをスタートした西宮市、姫路市担当者による事例発表や、参加者同士の意見交換が行われました。

現在、県内会員数は2万6千人で、年間6万8千件の利用があります。利用を希望される方は、まずはお近くのセンターまでお問合せください。

ファミリーサポートセンターの 主な活動内容

保育所までの送迎
 保育所の開始前や終了後の預かり
 学童保育後や学校の放課後の預かり
 保護者の病気や急用の場合の預かり
 冠婚葬祭やきょうだいの子どもの学校行事の際の預かり
 保護者の短時間、臨時的な仕事の際の預かり
 子どもの病気の回復期の預かり(23市町)など

研修会の事例発表



(問) 県少子対策課 078-362-4183

各種募集

子育て情報楽座の開設団体募集

～子育て支援をしたい方、ボランティアを求めている方、
子育て中の方などの情報拠点を全県で展開～

県では、地域の身近な場所を活用して、子育て支援情報の収集・発信、交流・ネットワークの拠点となる「子育て情報楽座」の開設を進めています。

情報楽座を開設すると、県から看板・掲示板の貸与や、子育て支援に関する情報提供、県HPでの紹介に加え、地域のネットワーク化の核となる右記団体から支援を受けることができます。

開設を希望される方は、少子対策課まで。

県消費生活センターで女性就業支援情報等の閲覧サービスを開始

県生活科学総合センター及び6地域消費生活センターでは、専用パソコンから消費生活情報と女性の就業支援情報を閲覧できるサービスを8月1日から開始します。ぜひご利用ください。

◆閲覧できるHP、ウェブサイト◆

- 消費生活情報(県・市町消費生活センターHP等)
- 女性就業支援情報(ネットワーク・インターネットサービス、女性の就業を応援する民間求人情報サイト等)

センター名	設置場所
生活科学総合センター	研修室(2階)
東播磨消費生活センター	東播磨生活創造センター「かこむ」(1階)
中播磨消費生活創造センター	生活創造情報プラザ(2階)
西播磨消費生活センター	県民ホール(1階)
但馬消費生活センター	県民サロン(中2階)
丹波消費生活センター	丹波の森公苑グループ活動コナ(2階)
淡路消費生活センター	消費生活・県民協働ホール(1階)

(問) 消費生活課 078-362-3376

各地域の活動支援団体

担当地域	団体名	連絡先
神戸・淡路	(特非)ウイズネイチャー	078-621-3127
阪神南	(特非)コミュニティ事業支援ネット	0798-23-3738
阪神北	(特非)市民事務局かわにし	072-774-7333
東播磨	(特非)みつくす	078-924-5139
北播磨・但馬・丹波	(特非)北播磨市民活動支援センター	0794-63-8156
中・西播磨	(特非)生涯学習サポート兵庫	079-230-0661

(問) 県少子対策課 078-362-4185

「まちかど子育て相談員」養成講座 受講生募集

身近なところで子育て家庭をきめ細かくサポートする仕組みづくりを進めるため、今年度から個別に相談に応じ、子育て支援サービスなどの情報を提供する子育て版ケアマネージャー「まちかど子育て相談員」を養成します。

講座修了者には知事名による修了証をお渡ししますので、ぜひご参加ください。

◆神戸会場◆

- 期間：10月～11月(全14回)
- 場所：東灘区民センター
- 定員：30人(先着順)
- 問合せ先：NPO法人子どものみらい尼崎
TEL 06-6418-3463

◆阪神会場◆

- 期間：9月～11月(全13回)
- 場所：宝塚市男女共同参画センター
- 定員：40人(先着順)
- 問合せ先：NPO法人宝塚NPOセンター
TEL 0797-85-7766

◆姫路会場◆

- 期間：9月～11月(全12回)
- 場所：姫路市民会館ほか
- 定員：40人(先着順)
- 問合せ先：NPO法人生涯学習サポート兵庫
TEL 079-230-0661

(問) 県少子対策課 078-362-4185

「まちの寺子屋師範塾」の受講生を募集します！ (8月に申し込み可能な講座)

県内大学でさまざまな子育て支援について学ぶ「まちの寺子屋師範塾」を開催します。(受講料：無料)

● 神戸大学

ひろば(地域子育て支援拠点事業)におけるターゲット支援を考える

講師 伊藤 篤 教授

「拠点でのターゲット支援の必要性と今後の展望」

など 全6回

開催日：9/24(土) 9/25(日)

募集期間：8/15～9/14

問合せ・申込：078-803-7970

募集人員：30名(先着順)

● 神戸学院大学

神院大発・子育てサポーター養成講座

講師 今西幸蔵 教授

「地域で子育て支援を始めませんか?～出会いを楽しもう!～」

など 全7回

開催日：10/3(月) 10/17(月)

10/24(月) 11/7(月)

11/14(月) 11/21(月)

11/28(月)

募集期間：8/29～9/16

問合せ・申込：078-974-6105

募集人員：30名(先着順)

● 甲南大学

「子育て・家族支援者」養成講座

講師 森 茂起 教授

「子育て支援と子ども虐待防止対策の接点」

など 全5回

開催日：10/1(土) 10/8(土)

10/15(土) 10/22(土)

10/29(土)

募集期間：7/25～9/16

問合せ・申込：078-435-2463

募集人員：20名(先着順)

● 兵庫県立大学

(姫路新在家キャンパス) 学ぶ 食で続ける健康生活

講師 江藤正義 教授

「食と運動で脳を鍛えよう!」 など 全5回

開催日：10/1(土) 10/8(土)

10/15(土) 10/22(土)

10/29(土)

募集期間：8/8～9/2

問合せ・申込：079-292-1515

募集人員：20名(先着順)

(問) 県少子対策課 078-362-4185

夏休みは親子で出かけよう！



県立こどもの館や県内の博物館、美術館では、夏休みならではの子ども向けプログラムを開催します。自然観察や工作、実験など夏休みの自由研究にも活かせる楽しい催しがいっぱい。下記以外にも県内各地でさまざまなイベントがあります。詳しくは、ホームページをご覧ください。

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~board-bo/kisya23/2307/2307142.pdf> (○:対象、★:参加費、●:申込方法)

県立こどもの館 (姫路市)
第21回こどもの館劇団 演劇発表会
「ピクチャーブックス」



8/20(土),21(日) 14:00~15:30

舞台上で広がる絵本の中の不思議な世界を楽しく体験しませんか！

○どなたでも ★無料 ●事前申込(先着 200名)

人と防災未来センター (神戸市中央区)
工作ショートプログラム

「ロープワークでなわばしごプレスレット」

~8/31(水) 10:30~15:30

ロープの結び方を覚えながら、かわいいアクセサリを作ります！

○どなたでも ★要入館料 ●自由参加



県立考古博物館 (播磨町)
「ナゾときにチャレンジ!クイズラリー」

8月中の毎週日曜 13:30~15:00

館内をめぐる古墳クイズに答えよう! 全問正解者は「古墳はかせ」に認定します!

○小・中学生 ★要入館料

●当日申込(先着 50名)



兵庫木の殿堂 (香美町)

「夏休みおもちゃ教室」

毎週土曜 13:30~16:00

こま、バードコール、CD たて、車、カスタネットなどを電動糸鋸等を使用して作成します。

○子どもと保護者 ★100~500円



地域団体・NPO・企業等の活動紹介

コープ活動サポートセンター姫路 (姫路市)

生活協同組合コープこうべでは、子育てひろば、食育くらぶなどの立ち上げや運営支援を行う「コープ活動サポートセンター」



親子運動会の様子

を県内 11 か所に開設しています。

姫路市にある同センターでは、週 1 回程度、子育てひろばを開設したり、小学生を対象にしたお買い物体験や親子クッキング教室、魚を食べる「モグモグたんけん隊」など各種イベントや子育て相談などを実施しています。

8月3日には、魚釣りゲームや工作等が楽しめる「コープ子育てひろばフェスティバル」(参加費無料)を開催しますので、ぜひご参加ください。

(問) コープ活動サポートセンター姫路 079-222-2294

特定非営利活動法人 S-space (神戸市)

神戸市立六甲児童館の運営などを行っている特定非営利活動法人 S-space では、「知力、体力、時の運、それに表現 責任を!!」をテーマに、地域で子育て支援活動を展開しています。

平成 19 年からは、県の委託を受けて、灘区五毛の灘丸山公園で子どもの冒険ひろば「みんなでわんぱく」を開設しています。公園内の芝生や林、川や森などを使って、子どもたちの「やってみたい」を応援しています。



みんなでわんぱく in まるやま

ぜひお越しください。

(活動は毎週水曜日 14:00 ~ 16:30)

(問)特定非営利活動法人 S-space 078-882-7234

※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「未来通信・配信希望」と送信ください。

兵庫県少子対策本部(健康福祉部子ども局少子対策課)
shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうごの子育て支援情報は

ひょうご 子育て

検索

ひょうご子育て
twitter

子育て情報やイベント情報をツイッターで随時発信しています。

<http://twitter.com/HyogoKosodate>

ひょうご子育て応援メールも好評配信中です!

子育てに役立つ身近な情報をメールで配信しています。
regist@magazine.hyogo-kosodate.jp(QRコードからも読取可)に空メールを送付し登録してください。



ひょうご

子ども未来通信 9月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_00000008.html



すべての子どもたちのための「ひょうごユニバーサル子育てフォーラム」を開催

「すべての子どもが生き生きと育つことのできる社会づくり」をテーマに、県と社会福祉法人トップ・アソシエーションによるフォーラムが8月21日に県公館で開催され、450名を超える参加がありました。

冒頭、井戸知事は、少子化対策に向けた県の様々な取組に触れながら、「子どもを育てるには、それにふさわしい環境づくりが必要」と熱心に語りかけました。

続いて、村木厚子内閣府政策統括官(共生社会政策担当)・待機児童ゼロ特命チーム事務局長より、全ての子どもを対象とし、これまでの子育て支援を統合・発展させていく「子ども・子育て新システム」についての講演が行われ、村木統括官は「子ども・子育て支援にもっと財源を振り向けるためにも、皆が関心を持ち続けることが大切」と会場に訴えかけました。

その後、村木統括官、大平光代弁護士、竹中ナミトップ・アソシエーション理事長の3名で行われた鼎談では、それぞれの子育て経験を踏まえた、奥深い話を披露。

大平弁護士は「子どもを持ったことで仕事ができなくなったと思ったら、自分だけでなく子にも良い影響を与えない。私がいきいき暮らすことで、娘も前向きな気持ちになると思った」と話しました。また竹中理事長も、「娘のおかげで、子どもがそれぞれ自分のスピードで生きていく尊さを知った。さまざまなものの見方が開けた」と語り、会場では納得の声が上がっていました。



(問) 県少子対策課 078-362-4232

23年度における子ども手当の支給等に関する特別措置法が成立

政府は、本年10月以降の子ども手当の支給額の変更等を盛り込んだ特別措置法案を国会に提出し、8月26日成立しました。(施行:平成23年10月1日)

24年度以降は、児童手当に所要の改正を行うほか、所得制限については検討の上、24年6月以降の給付から適用される予定です。

【法の概要】

(1) 支給額

現行： 一律1.3万円	区分	3歳未満	3歳以上小学校修了前		中学校
			第1、第2子	第3子	
	月額単価 (うち児童手当分)	1.5万円 (1万円)	1万円 (0.5万円)	1.5万円 (1万円)	1万円 ()

(2) 費用負担

児童手当分を児童手当法の規定に基づき、国、地方、事業主が負担。それ以外の費用については全額国庫負担。(公務員については所属庁が負担)

(3) その他

- ・子どもの国内居住要件を設定
- ・児童養護施設入所児童等についても、施設設置者等に手当を支給
- ・手当から保育料を直接徴収可能に、また学校給食費等を本人の同意により納付可能な仕組み
- ・地域の実情に応じた子育て支援サービスを拡充するための交付金を創設

ひょうご絵本プロジェクト

「たじま絵本フォーラムin朝来」 「～絵本がつなぐ心と心～」を開催

県では、すぐれた絵本文化を伝え、ひょうごの未来を担う子どもたちの夢と創造力を育もうと「ひょうご絵本プロジェクト」を展開しています。

8月6日には、朝来市で「たじま絵本フォーラム」が開かれ、子育て支援者など約160名が参加しました。

絵本作家の永田萌さんが「絵本のちから」と題して絵本の歴史や魅力・役割について講演された後、永田さんと清原県理事兼少子対策本部事務局長が対談。自身の子育て体験談や、県の子育て支援施策、今後のビジョンについて語り合いました。



県民局絵本リレーフォーラム

地域名	開催日(予定)	場 所	参加者(定員)
阪神南	10/22(土)	大手前大学夙川キャンパス スポーツセンター	150名
阪神北	12/19(月)	宝塚市立西公民館	100名
東播磨	8/2(火)	加古川総合文化センター	200名
北播磨	10/19(水)	小野市うるおい交流館1F	150名
中播磨	9/6(火)	県立姫路労働会館	160名
西播磨	8/27(土)	龍野経済交流センター	200名
丹 波	1/22(日)	篠山市民センター	100名
淡 路	11/10(木)	洲本市文化体育館	100名

各会場にて、絵本読み聞かせ、講演、人形劇等を実施。

(問) 県少子対策課 078-362-4185

「ひょうご絵本フォーラム全県大会」を開催します!

日 時：10月30日(日)13時半～15時半

場 所：県公館大会議室

定 員：250名(先着順)、無料

内 容：絵本編集者松田素子さんの講演および永田萌さんとの対談、絵本の伝承師による朗読、絵本のかえっこバザール等

申込先：県少子対策課

Tel:078-362-4185 FAX:078-362-3011

E-mail:shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

県内外の大学生等が県庁で就業体験

大学生等が県庁の職務を体験し、将来の職業や進路などについて考える「県庁インターンシップ」が8月22日から始まり、大学院生、大学生、高専生等31名、高校生80名が参加しました。

知事からは、「県職員には積極的に取り組む姿勢が必要。様々な業務にチャレンジを」とエール。少子対策課に配属された神戸女学院大学3回生の菊池亜耶さんは、子育て支援事業のサポート等に挑戦しました。

菊池さんは、「10日間で様々なことを学ぶことができた。

この経験は、大学卒業後、社会人として働く際の基盤になる」と感想を話していました。



神戸女学院大3回生の菊池さん(右)

(問) 県少子対策課 078-362-4183

県内中学生が各地域課題について県幹部に質問・提案 中学生県議会2011(8月22日)

「さあ、兵庫の未来を語ろう」をテーマに、中学生の質問・提案に県幹部が答える同会議が県議会本会議場で開催され、県内中学生87名が出席しました。

冒頭、井戸知事は、「今回の震災で注目された、家族や友達等との『絆』や『思いやりの心』を皆さんもしっかり育てていって欲しい。そうすれば、兵庫の将来はずばらしいものになる」と挨拶。

その後、県内10地域のグループ毎に地域の課題等について中学生が質問・提



案を行い、県からは、知事はじめ県幹部が答弁しました。

中学生県議会での地域別質問内容

地域名	質 問 内 容
神 戸	自分たちの住むまちをさらに良くする取組について(子どもから大人まで誰でも利用できる施設について等)
阪神南	東日本大震災について(津波対策について等)
阪神北	交通安全に関する意識を高める取組について
東播磨	ゆるキャラを活用した兵庫県のPRについて
北播磨	地域特産物を他地域に広めるための取組について
中播磨	姫路に観光客を呼び込む取組について
西播磨	外国の人たちに訪れてもらうための仕組づくりについて
但 馬	但馬地域のPRについて
丹 波	丹波地域に活気を生み出す政策や取組について
淡 路	環境にやさしいまちづくりについて

(問) 県ビジョン課 078-362-4313

子どもの生活習慣づくり講師を派遣します

県では、昨年度策定した「子どもの生活習慣行動指標」を広く普及啓発するため、睡眠・食・遊び・子どもの発達に関する学識者・実践家等を、地域団体やNPO、グループ等が開催する学習会等に派遣します。

派遣を希望される場合は、下記までお問合せください。



対象：地域団体やNPO、グループ等が開催する集まり・学習会(15～20名以上)

期間：23年8月1日(月)～24年3月31日(土)

その他：講師派遣に係る謝金は県が負担(既に講師が決まっている場合でも、この制度を利用出来ます)

【子どもの生活習慣づくり行動指標】

1. ねる前には心も体もゆったりさせよう
2. ぐっすり眠ってすっきりめざめよう
3. 「行ってきます」の1時間前までには起きよう
4. 朝食を毎日食べよう
5. 毎日うんちをしよう
6. 体を使ったり五感を働かせたりして遊ぼう
7. 家族や友だちといっしょに遊ぼう
8. テレビやゲームは、決めた時間を守ろう
9. 栄養のバランスに気をつけよう
10. 家族といっしょに楽しく食事をしよう



(問) 県少子対策課 078-362-4186

認定こども園の整備を進めています

県では、保育所機能と幼稚園機能、地域の子育て支援機能を合わせ持つ「認定こども園」の整備を進めており、23年4月1日現在、県内に60施設、その設置数は全国第2位となっています。

県は独自に施設整備や運営等への支援を行い、普及に取り組んでいます。詳しくは下記まで。

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw10/hw10_000000037.html

認定こども園の良いところ！

1. 保護者が働いている・いないに関わらず全ての子どもが利用できます
2. 0～5歳の年齢の違う子ども同士が共に育ちます
3. 子育て相談などの子育て支援を行い、地域の子育て家庭を支援します



(問) 県児童課 078-362-3215

「仕事と生活のバランス推進フォーラム」参加者募集！

日時：9月16日(金) 14時～17時半

場所：県公館大会議室

内容：(1)県内外企業社長等による事例発表
(株)樹研工業 松浦元男代表取締役社長
(株)ユースシステム 佐伯里香代表取締役
(株)長岡塗装店 古志野純子常務取締役
(2)パネルディスカッション

定員：200名(無料)

申込方法：FAXもしくはメールにて住所、氏名、連絡先をお知らせください。

※ 切：9月12日(月) 必着

(問) ひょうご仕事と生活センター

Tel:078-381-5277 Fax:078-381-5288

E-mail: info@hyogo-wlb.jp

「まちの寺子屋師範塾」の受講生を募集します！ (9月に申し込み可能な講座)

県内大学でさまざまな子育て支援について学ぶ「まちの寺子屋師範塾」を開催します。(受講料：無料)

関西学院大学 子どもの姿をとらえ直す

講師 清原知二 教授
「乳幼児・児童期・生徒期の成長の流れをみる - 美術教育の視点から -」
など 全4回

開催日：10/22(土) 10/29(土)
募集期間：9/1～10/14
問合せ・申込：0798-54-6890
募集人員：40名(先着順)

神戸芸術工科大学 子どもとデザイン

講師 相良二郎 教授
「安全と安心のためのデザイン」
など 全3回

開催日：10/29(土) 11/12(土)
11/26(土)
募集期間：9/5～10/15
問合せ・申込：078-794-2112
募集人員：50名(先着順)

近大姫路大学 こどもの未来をはぐくむ 子育て支援講座

講師 井上龍彦 教授
「子どもと楽しむものづくり」
など 全5回

開催日：10/29(土) 11/19(土)
11/26(土) 12/3(土)
12/10(土)
募集期間：9/1～9/30
問合せ・申込：079-247-7301
募集人員：30名(先着順)

神戸女学院大学 子どもとアート

講師 浜下昌宏 教授
「美術館の利用方法」
など 全5回

開催日：10/17(月) 10/18(火)
10/19(水) 10/20(木)
10/21(金)
募集期間：9/5～9/22
問合せ・申込：0798-51-8549
募集人員：25名(先着順)

(問) 県少子対策課 078-362-4185

県立美術館 親子向けイベント等 「アリエッティおやこ解説会や一時預かり鑑賞dayを実施」

現在、県立美術館では、スタジオジブリのアニメ映画の世界を小人の気分で体験できる「借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展」を好評開催中で、9月17日には親子を対象にした解説会を開催します。

展覧会とあわせ、ぜひお楽しみください。

また、お子様を一時お預かりし、ゆっくり美術鑑賞していただける「美術鑑賞 day」も右記のとおり実施します。



「アリエッティ」の世界を体験！

【おやこ解説会】

日時：9月17日(土) 13:30～14:00

対象：小学生とその家族(先着100名)

参加費：無料(事前申込み不要)

13:15に1階レクチャールームに集合してください。

(問)県立美術館 078-262-0908

【美術鑑賞 day (一時預かり保育実施日)】

日時：9月4日(日)、17日(土)、23日(祝)

いずれも 10:30～15:30

対象：0歳(2ヶ月)～就園前児10名

(予約制)

保育料：800～900円/時

(詳細はお問合せください)

(問)HeartMam(ハートマ)090-3948-3719

「家族の日」写真コンクール・「わが家のルール」作品展を開催

ひょうご家庭応援ネットワーク会議と県では、「家族の日」運動を普及推進するため、これまでの写真コンクール入賞作品を上映・展示する作品展を開催します。

日時：9月1日(木)～14日(水)11時～20時

場所：ミント神戸 6階「フルーツ@ｽﾀｼﾞｱ」

内容：「家族の日」写真コンクール、「わが家のルール」過去入賞作を大型ディスプレイ等で上映
過去の「家族の日」写真コンクール入賞作を一部展示

入場料：無料

第4回「家族の日」写真コンクールの作品も募集中！
テーマ：「家族のきずな」
※切：9月30日(金)必着
詳しくは下記まで



第3回入賞作品

(問) 県男女家庭室

Tel:078-362-3169 Fax:078-362-3957

E-mail: danjokatei@pref.hyogo.lg.jp

地域団体・NPO・企業等の活動紹介

● プレーパーク赤とんぼ 6周年記念「そうめん流し」を開催(たつの市)

● プレーパークとは、子どもが自分の責任で自由に遊ぶ所で、同会では、端材・段ボール・ロープ等、遊びの素材を子どもが自由に選び、自分で遊びをつくる遊び場を提供しています。

● 7月30日には揖保川河川敷公園で6周年イベントを開催。西播磨各地から550名の子どもたちが集まり、たつの市名物のそうめん流しや、ブルーシートプールでの水浴等を楽しみました。

● 赤とんぼは、毎週土曜日に揖保川河川敷公園、水辺プラザで活動しています。

● 興味のある方はぜひ一度遊びに来て下さい。



そうめん流しの様子

(問) 子どもの遊び場を考える会 赤とんぼ
0791-62-2229

編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関など希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「未来通信・配信希望」と送信ください。

兵庫県少子対策本部(健康福祉部子ども局少子対策課)
shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうごの子育て支援情報は

ひょうご子育て

検索

ひょうご子育て

twitter

子育て情報やイベント情報をツイッターで随時発信しています。

<http://twitter.com/HyogoKosodate>

ひょうご子育て応援メールも好評配信中です！

子育てに役立つ身近な情報をメールで配信しています。

regist@magazine.hyogo-kosodate.jp(QRコードからも読取可)に空メールを送付し登録してください。

